

# 令和5年度 学校自己評価書 —保護者や地域の皆様へ—

小美玉市では、市内各幼稚園、小・中・義務教育学校で、教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行っております。各学校がその結果を公表しておりますが、ここでは「保護者や地域の皆様へ」という部分のみをまとめてお示しします。

今後も、市民の皆様へ情報をお伝えしてまいりますので、学校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 【竹原小学校】

学校経営の基本方針を「楽しく元気な学校づくり」とし、学校全体として「児童の自己肯定感を向上させよう」を組織目標とし取り組んできました。挨拶については、教師が範を示し、声に出して挨拶を交わすことを習慣付けてきました。また、元気な挨拶ができるように、月初めに代表委員や各学年の児童が正門前や昇降口に立って挨拶運動を行ってきました。学級においては、小さなことも「認め ほめ とともに喜ぶ」ことで、絆づくりや居場所づくりを行い、自己肯定感を高めるようにしてきました。また、学校ボランティアなどでお世話になっている方々に感謝の気持ちを伝える場を設けることで、感謝できる心の育成を図ってきました。今年度は、校外学習や運動会、レクリエーション、田植え・稲刈り、150周年記念集会等の学校行事を通して、各集団の絆を深めてきました。また、保護者や地域の協力を得ながら、学校の教育活動を充実させ、児童一人一人の成長を促す活動に積極的に取り組みました。

児童の学校生活アンケートでは、「学校に来ることが楽しい」と答える児童が約93%。また、「早寝・早起き・朝ごはんを実行できている。」については、できていると回答した児童が85%と基本的な生活習慣の定着が見られました。

学校運営協議会委員の方々からのご意見

- ・挨拶については、保護者への啓発活動を授業参観やPTA総会等で伝えた方がよい。
- ・児童数の減少については、学校運営協議会と地域学校協働活動の活性化がさらに必要だと思う。
- ・授業参観では、子供たちが生き生きと授業を受けているのがよかった。道徳授業では「命の大切さ」を扱った授業がよかった。
- ・150周年記念集会では、各学年の発表に工夫が見られ子供たちの笑顔で活動している様子の頼もしさを感じた。
- ・美野里太鼓の演奏がよかった。竹原小の児童の体験する場があったり美野里太鼓に入っている本校児童の演奏もあつたりしてよいアピールになっていた。

貴重なご意見をありがとうございました。今後の教育活動につなげていきたいと考えます。

## 【羽鳥小学校】

本校では「よりより教育活動を通して児童の主体性を育む（脱・やらされ感）」を目標に、教育活動に取り組んできました。一人一人の夢を育むために、「ドリームバード」（夢と3つの目標達成）計画を毎年実施しています。この取組により、夢や目標に向かって努力していることが形となって見えるようになったため、自己有用感を感じている児童が増えています。それが知・徳・体の伸張を促す原動力に繋がっていくと考えます。

課題であった学力向上については、ICT機器を効果的に活用した授業改善に努めました。1人1台端末をより有効活用するために今後も職員の研修を継続し、児童一人一人の学習意欲の向上と学力の定着をさらに図っていきたいと考えます。

保護者および地域の皆様、今年度も本校教育への全面的なご理解・ご協力をいただきありがとうございました。

特に今年度は、保護者の皆様だけでなく、学校運営協議会や羽鳥っ子応援団の皆様にもご協力をいただき、より充実した教育活動を展開することができました。各教育活動へのご理解とご支援に心から感謝申し上げます。

次年度も、教職員一同羽鳥小学校の発展に力を尽くしていきたいと決意をしております。更なるご支援をよろしくお願いいたします。

## 【堅倉小学校】

保護者や地域の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本校では「目標に向かって自ら考え がんばる堅倉っこの育成」を目標に、教育活動に取り組んできました。スポーツフェスティバルやあいさつ運動、STOPいじめ集会、異学年交流である縦割り班活動など、様々な行事や集会活動で児童が主体となって企画・運営を行いました。

学力向上の面では、校内研修テーマを「児童の思考を可視化し、学びをつなぎ、深める学習指導」～ICT機器の効果的な活用場面の工夫を通して～とし、算数科を中心に外部講師を招いて研修を行い、全学級で研究授業を実

施しました。ICTの効果的な活用として、思考を可視化することにより児童間で学びを共有しやすくなり、話し合いが活性化しました。また、デジタルポートフォリオによる指導と評価の一体化は学びを深め、授業改善と授業力向上に取り組み、11月には本校で小美玉市教育研究会指定校発表会を開催し、その成果を市内に発信することができました。「授業がよく分かる」と回答した児童は95%と高い評価でした。

学校運営協議会では、地域の方々と目標(目指す子供像)を共有し、学校・家庭・地域が一体となって「地域と共にある学校」を目指しました。本年度は、特に登下校時の見守り活動や学習支援ボランティアとしてより多くの支援をいただきました。具体的には、田植えや稲刈り、読み聞かせ、家庭科でミシンや調理実習、堅倉地区探検(校外学習)の引率などの協力を得ることで、地域社会、地域の人々との触れ合いにより、児童は地域の一員としての自覚が芽生え、体験を通した学びが広がり、深まりました。こうした取組を支援していただいた学校運営協議会委員様には、地域の教育力を活かし、地域の方々と学校をつなぐコーディネーターとしてご尽力いただきました。地域の様々な団体様やPTA、育成会など多くの保護者の皆様の温かなご支援は、目標に向かってがんばる児童にとって大きな力となりました。皆様方の多大なるご支援に、この場をお借りしまして御礼を申し上げます。

来年度においても、堅倉小学校が子どもたちの健やかなる成長を実現する学び舎となるよう努力していく所存です。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

### 【納場小学校】

保護者の皆様、地域の皆様、日頃より本校の教育活動に深いご理解とご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。おかげさまで、児童は安全安心に、充実した学校生活を送ることができました。

学校経営のキーワードに「みんな「笑顔」」をかかげ、児童も保護者も地域も教員もみんなが笑顔になれる地域とともにある学校を目指して取り組んできました。あいさつについては、声の大きさやすすでのあいさつにまだ課題があるところですが、代表児童や教師が毎朝正門に立ち、率先してあいさつをしたり、児童自らがお昼の放送やポスターであいさつの大切さを伝えたりしてきました。地域の方々の登下校の見守りボランティアの皆様には、あいさつや歩き方への声かけを含め、年間を通して児童の安全な登下校のためにご尽力いただきました。ありがとうございました。

授業支援につきましては、各学年、各教科において、生活科における見守りや水泳学習の支援等、保護者や地域の方々に快く積極的に参加いただき、子どもたちはより充実した学習をすることができました。また、PTA主催の親子活動は子どもたちにとっても大変楽しく充実した時間となりました。

昨年度3年ぶりに実施した「納場っ子まつり」ですが、今年度は学校運営協議会の方々にもご尽力いただき、副題を～地域のキラリと出会う～とし、地域の方との体験活動を通して、納場のよさ、小美玉のよさを子どもたちは実感することができました。学校田である「ぼん田くんファーム」での田植え、稲刈り、脱穀作業は子どもたちにとってかけがえのない体験活動です。このような様々な活動を年間を通してできるのも、保護者の皆様、PTA役員の皆様、学校運営協議会の皆様、納場地区教育振興後援会の皆様、小美玉市民の会の皆様、名友会の皆様、納場コミュニティの皆様等本当に多くの方々の支えがあってこそです。

来年度においても、納場っ子の更なる成長のためによりよい教育活動ができますよう、職員一同努力していく所存です。今後とも、本校の教育力の向上、発展に変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

### 【小川南小学校】

本校教育活動へのご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

保護者や地域の皆様には、いつも温かい励ましのお言葉をかけていただき、また、本校の教育活動に積極的にご協力いただき、職員一同感謝しております。

今年度は、「知る。考える。動く。動かす。」ことを大切にして教育活動を推進してまいりました。統合5年目となり、小川南小学校として、学校生活も軌道にのり、落ち着いた授業ができています。新型コロナウイルス感染症も5類に分類され、運動会や授業参観を全校で行うなど学校行事や日々の授業がコロナ禍以前の生活スタイルに戻つつあります。次年度は、今年度の成果と課題を踏まえ、一人一人の児童が主体的に行動できる力を育み、学力や体力の向上、豊かな心の育成に、教職員一丸となって取り組んでいく所存です。

保護者や地域の皆様と、一緒に子供たちを育てていけるよう、更なるご支援とご協力をよろしく願いいたします。

本校の教育活動や児童の様子、各種たよりについては、ホームページでも紹介しております。多くの保護者の皆様や地域の皆様に見ていただければ幸いです。

### 【小川南中学校】

県内有数の広い敷地、設備を備えた、この素晴らしい環境の中で、保護者・地域・各分野の関係者の皆様にご協力をいただきながら、生徒たちは学習や学校行事、部活動に取り組んでおります。

本校の学校教育目標「自ら学び 仲間とともに 未来を切り拓く生徒の育成」を達成するために、今年度は「生徒が主役 認める 寄り添う」を組織目標として掲げ、「チーム南中」として全職員で取り組んでおります。

さらに「人権を尊重し、心を豊かに育む学校」「生徒が主体的に活動する学校」「地域社会と連携交流する学校」等をより具体的な生徒の姿や学校環境として捉えております。

学校公開日や体育祭、あしのみ祭（文化祭）など、生徒たちの思いや願いを大切に、生徒が真剣に学ぶ様子や主体的・創造的に活動する様子を直接ご覧いただける機会を計画しております。ご来校いただける場面においては、皆様の生の声をお聞かせいただけましたら幸いです。

本校の教育活動や生徒の様子や各種たよりについては、ホームページでも紹介・掲載しております。ぜひご覧いただき、引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

### 【美野里中学校】

令和5年度は、「探究学習ができる生徒の育成」～困ったとき、分からないときに、あきらめずにいろいろな方法を考え行動することができる生徒の育成～を目標に、学年行事・学校行事等を生徒主体で実施してきました。1つ1つの行事を通して、生徒同士の絆の深まりと自主性や自律性が育まれました。

学習面につきましては、基礎学力の定着と学力の向上を目指し、2年生の国語科や数学科で少人数指導やチームティーチングを実施して、生徒一人一人への丁寧な支援を行ってきました。また、今年度は各授業での振り返りを重要視してきました。毎時間振り返りを実施することで、生徒自身の学びの調整力をつけたり、授業者の授業改善につなげたりすることができました。今後も、分かる授業、学ぶことの楽しさを感じられる授業をめざし、授業改善に努めていきたいと思っております。さらにご家庭とも連携を深め、家庭学習の充実等を図ることにより、学習習慣の形成とさらなる基礎学力の定着を目指していきます。

部活動においては、本年度も、多くの部活動が県大会に出場し、水泳部と陸上部、女子駅伝部が関東大会出場を果たしました。一方、文化部も吹奏楽部の定期演奏会や各種コンクールへの参加、演劇部の定期講演会や読み聞かせ会、コンクールへの参加等熱心に活動しました。2月に行われた読み聞かせコンクールでは、茨城県教育委員会教育長賞を受賞しました。全ての部活動で意欲的な活動が行われ生徒の自己肯定感を高めることができました。

担任・生徒指導主事等による家庭訪問やスクールカウンセラーと連携した教育相談の実施、相談室登校生徒への全職員が関わる対応など、不登校生徒の状況は徐々に改善が図られています。今後も継続して、生徒の社会性や自己肯定感の向上を図るとともに、生徒間の人間関係のトラブル等の早期発見に努め、好ましい人間関係づくりが推進されるように学校一丸となって取り組んでまいります。

地域との連携につきましては、学校運営協議会での熟議の内容を踏まえ、市の生涯学習課のコーディネートのもと、学校支援ボランティアの方々への参加による挨拶運動や家庭科の授業支援活動を実施することができました。生徒たちもボランティアの方たちに支えられて、作品が完成できたことをたいへん喜んでいました。次年度はさらに、保護者の皆様、地域の皆様との連携を深め、地域とともにある学校づくりを推進してまいります。

### 【玉里学園義務教育学校】

玉里学園義務教育学校として令和3年の4月に開校し、間もなく3年になります。義務教育学校の特長を生かした教育活動を実践し、よりよい学校づくりに努めているところです。

本年度は、新型コロナウイルス感染症が5類となり、授業参観や学年行事など来校していただく機会も増やしてきました。また、宿泊を伴う行事や遠足、スポーツフェスティバルや緋秋祭など、計画通り実施することができました。子供たちの活躍する機会が増えてきたことはとても嬉しく思います。これも保護者や地域の方々の御理解、御協力のおかげです。

現在は変革の時期であり、特にICTを活用したよりよい学校運営のあり方を模索しているところです。学習面におきましても、オンライン授業やオンライン学習など、インターネットを活用した内容が増えていきます。インターネット機器を有効に活用することが、これからの時代に必要とされるからです。保護者の皆様には、1人1台端末の活用について今後も御理解と御協力を頂きたいと思っております。

最後になりますが、家庭や地域とともにある学校づくりを目指していきますので、是非今まで以上に本校に関心をもって、建設的なご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 【小川北義務教育学校】

本校の教育目標である『温かい心で人と関わり、未来を切り拓くたくましい児童生徒の育成』、そして、目標具現化のため「児童生徒一人一人を大切に作る魅力ある学校づくり」を念頭にスローガン《4つの合い》「学び合い」「認め合い」「支え合い」「高め合い」の実現に向けては、児童生徒の頑張りとお職員の支援により、大変充実した取組ができました。児童生徒は義務教育学校のよさを生かしながら、さまざまな体験をし、心身共に大きく成長しました。特に、部活動や各種行事を経験して得られた充実感、達成感、及び反省点は、必ずや次への意欲につなが

るものと確信しています。保護者の皆様や地域の方々のご理解とご支援のおかげもあり、いろいろな場面で児童生徒の善行が見られ、お褒めの言葉をいただくことも増えています。一方、少数ながら児童生徒間のトラブルや問題行動もあります。これについては、全職員で共通理解するとともに指導に努めています。また、信頼される教師を目指し、全職員でコンプライアンス研修を実施し、不祥事の未然防止に努めてまいります。

学力・体力の向上に向けては、全職員で研修を進め、「学び合い」のよさを生かした授業改善とGIGAスクール構想を踏まえた授業の工夫を継続して進めてまいりました。また、「道徳」の授業改善についても継続して取り組んでいるところであります。児童生徒は、体育の授業や毎日の部活動にも一生懸命取り組んでおり、体力を着実に向上させています。コロナ禍の影響はありましたが、県内でも比較的高いレベルを維持できています。また、課題であった発表力については、ペア学習・グループ学習の意見交換の場面で、成果が現れています。

今後も《4つの合い》を本校のキーワードとして、学習や部活動、児童生徒会活動や学校行事等それぞれに主体的に取り組み、常に上のレベルを目指す児童生徒集団、学び合う教職員集団になるよう努めてまいります。

児童生徒の心身の健全な育成には、保護者の皆様、地域の方々を始め多くの方のご支援、ご協力が欠かせません。本校ではさらに開かれた学校を目指し、授業公開や行事等に工夫改善を加え、「地域とともにある学校」となるよう、学校だよりや学校ホームページ等を活用し、適切な情報発信に努めます。保護者や地域の皆様には、その豊富な教育力を学校の教育活動の充実に向け、ご協力いただければありがたく存じます。

最後に、本校は、コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会との連携を図り、今後も一層「地域とともにある学校」の実現を目指し、努力してまいります。ご支援どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 【元気っ子幼稚園】

元気っ子幼稚園は、今年度第15回の卒園をもって、閉園されます。令和6年度には、新たに小川地区と玉里地区の統合による元気っ子幼稚園が開園されます。

今年度は、本園の教育目標「幼児の発達にふさわしい環境を構成し、豊かな情操を養うとともに、自立の態度を培い、心身の調和のとれた幼児を育成する。」の実現に向けて進めて参りました。また、その具現化のための経営方針として、五つの柱（課題と教育課程・学びの連続性・指導計画の改善・生活習慣の確立・環境の維持）を立てて相互関連を持たせながら実現しております。これまでに多くの卒園生を送り出してきましたが、少子化の波にのまれ昨今は開園当初のころの園児数の1/3程度にまで減少しております。少人数ではありますが、今も変わらない元気いっばいの幼児達が生活を送っております。15年間保護者・地域の皆様のご支援ご協力ありがとうございました。

令和6年度からは、3歳・4歳・5歳の3年保育となり園児数も現在の倍になります。今後も保護者・地域の皆様のお声を大切にしながら、地域の幼稚園として皆様のご期待に添えるよう、職員一同更に努力して参りますので変わらずのご声援とご助力を賜りますようお願い申し上げます。

### 【よつば幼稚園】

日頃より、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては本園の教育活動にご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。

本園は開園より3年目となり、年中児22名、年長児17名が在籍し、毎日元気に幼稚園生活を送り、小学校内ということもあり、小学校の先生方や児童と手を振ったり、挨拶を交わったりすることが自然にでき、また授業の様子が常に環境として見える場にあることで、小学校生活への親しみや就学することへの期待や憧れをもつことができました。

また、地域の希望ヶ丘公園にて春には桜や菜の花散策、竹原神社にて満開のあじさい花を見て季節の変化に気付いたり、地域の方々と触れ合ったりするなど、園内では得られない貴重な経験をさせていただきました。

令和6年度は園行事（運動会・発表会など）コロナ禍以前の状態に戻していき、園児の活動や成長をより多くの方々に参観いただけるよう取り組んでいきたいと思っております。

また、3年保育が開始されますので、幼稚園教育の特色を生かし一人でも多くのお子様をお預かりできるよう、行政共々工夫改善をしながら努力したいと考えております。

今後も、保護者の皆様や地域の皆様からいただいた意見を大切にしながら、皆様のご期待に添えるよう、職員一同、努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

### 【玉里幼稚園】

日頃、本園教育に多大なるご理解とご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。本園は、令和6年3月31日をもって、53年間の教育活動に幕を下ろします。長きにわたりまして、保護者の皆様、地域の方々に支えられ、そして愛されてまいりました。これまでの皆様のご厚意にも感謝申し上げます。

今後は元気っ子幼稚園と統合して、「新生」元気っ子幼稚園として教育活動を推進してまいります。これからは、新生元気っ子幼稚園へのご支援をお願い申し上げます。